

学 校 だ よ り

平成28年 8月 29日



9月号

NO. 330

横浜市立茅ヶ崎小学校
校長 岩本悦子

二兎でも三兎でも追え

副校長 山内 容子

校庭に、校舎内に子どもたちの元気な声が返ってきました。学校には子どもたちの元気な声や笑顔が似合います。やはり学校の主役は子どもたちです。

夏休みの期間中に開催されたりオデジャネイロオリンピックの中継から、各国のスーパー選手たちの素晴らしい活躍を見ることができました。そして、たくさんの感動をもらいました。選手たちは長い間、“二兎を追う者は一兎をも得ず”の精神で、一点集中で努力を重ねて、自らの力を最大限に伸ばしてきたのでしょう。素晴らしいことであり、感服します。

しかし、私は、子どもたちに

一兎をしっかり追うもよし

二兎も三兎も追ってもよし

できることなら、二兎も三兎も追っていこう

と言いたいです。なぜなら、子どもの夢は成長とともに変わるものだからです。将来に立ち向かうエネルギーを蓄え、自分の可能性を広げるためにも、子どもの時には二兎でも三兎でも追うことが必要なのではないかと思います。

学校、家庭、地域等、子どもを取り巻く教育の場は多様にあります。それぞれの場から様々なことを学び、子どもたちの夢は大きく広がっていきます。子どもたちには、このような様々な学びの場で自分の可能性を探り、いろいろな方向に触手を伸ばし、自らの将来を展望していってほしいと思っています。

夏休み明けの学校では、日々の学習活動に加えて、運動会に向けた取組や、音楽のつどいへの準備も始まります。遠足や社会科見学など校外での活動を実施する学年もあります。学校教育でも、二兎も三兎も追いながら、夢を実現するために必要な資質・能力を育成していきます。

夏休み開けも、皆様のお力を借りながら子どもたちの未来づくりを進めていきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。